

「南三陸町防災士育成事業費補助金」を活用して防災士の資格を取得した 石井洋子さんに資格を取得したきっかけや今後の展望などをおきました！



石井さんは、地球環境問題に関して様々な取組みをされてきている方で、宮城県地球温暖化防止活動推進委員や宮城県環境教育リーダーとして、また、南三陸町ネイチャーセンター友の会に所属し、気象庁での勤務や南極観測隊としての経験を生かして、気象や防災などについての講演のほか、口ケットストーブ（薪ストーブ）を活用したワークショップを行っています。

Q1 なぜ防災士の資格を取得しようと思われましたか。

A1 東日本大震災後にボランティアとして南三陸町を訪れた際に、南三陸町の自然の素晴らしさに感心を持ちました。この豊かな自然を次の世代に残していくため町の防災・減災の取組に貢献したいと思い、資格を取得しようと思いました。

Q2 防災士の資格を取得して得たことを、どのように地域などの活動に役立てようとされていますか。

A2 防災士になって日が浅いためどのような活動をすればいいかまだ分かっていませんが、自分

の得意分野（気象に関する知識など）を生かして活動できればと思っています。また、地域の集まりなどで防災について積極的に話し合いを持ちたいと考えています。コミュニケーションをとることで、自分自身も学ぶことがたくさんあるからです。

Q3 現在、実際に取り組まれていることがありましたらご紹介ください。

A3 5月から毎月第4日曜日に生涯学習センターを会場とし、天気・気候・防災に関する講座をしています。

Q4 今後の目標をお聞かせください。

A4 様々な活動を通して町の防災・減災対策の力となり、自然豊かな南三陸町が継続するよう、共助と公助の間をつなぐ役割を担えればと思っています。
そのためにも、この補助制度を活用して防災士の資格を取得する人が増え、地域同士のネットワークができればいいと思います。